

平成28年度 第5学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ☆友達の意見を聞くときに、話し手の意図を考えながら、話の中心、構成に注意して聞くことで、自分の考えを深めたり、変えたりできるようにしていきたい。 【工夫】 ☆学習形態の工夫 ・音読では自分なりの解釈を読みを生かせるよう、めあてを明確にさせて取り組んでいる。 ・グループでの交流を多く取り入れ、読み合ったり、話し合ったりすることができる環境をつくっている。	☆学習形態の工夫 ・メモやノートの内容を比較、対照したり、関連のあることをまとめたり、分類したりして、自分の考えに生かすようにする。 ☆評価規準を見取る評価方法の工夫 ・計画的に学習を進めたり、話題を深めたりできるように個人で考えたいこととグループや学級全体で考えたいこととをそれぞれメモやノートを利用し明確に書き留めておかせる。
社会	【課題】 ☆我が国の国土の特色やよさ、それを生かした人々の生活、国土の環境の保全や自然災害の防止への工夫や努力を理解できるようにするとともに、国土に対する愛情を育てていきたい。 【工夫】 ☆学習形態の工夫 ・知識を定着させるため、世界の大陸名や都道府県名などの基礎知識を繰り返して学習している。 ☆成就感、問題意識を引き出す工夫 ・児童が自主的に課題に取り組めるよう、解決するための手段や方法について自ら工夫させた。	☆指導目標の明示 ・それぞれの産業の現状や特色、生産に従事している人々の工夫や努力を調査したり、資料を活用したりして具体的に調べることを通して、国民は便利で快適な生活を送っていることを知らせる。 ☆問題意識を引き出す工夫 ・生活様式の変化や都市化の進展などがもたらした都市・生活型の公害、あるいは産業がもたらした公害などを調べることで、環境保全を図るためには国民一人一人の協力が必要であることに気付かせる。
算数	【課題】 ☆根拠を明らかにして、筋道を立て、体系的に考えたり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする力をつけていきたい。 【工夫】 ☆学習形態の工夫 ・課題に手をつけられない児童が自力で思考できるよう、机間指導などで支援できた。	☆数学的な思考力・表現力の育成 ・日常の言語をはじめ、数、式、図、表、グラフなど様々な表現の手段を用いて考えたり、自分の考えを説明・表現したりする学習活動を充実させる。
理科	【課題】 ☆実験、観察の結果から予想を検証する考察を目指し、検証するための実験や観察方法を工夫する力を付けたい。 【工夫】 ☆問題意識を引き出す工夫 ・課題を把握しやすくするために、児童に身近な話題で導入をするように工夫している。 ☆学習形態の工夫 ・学習内容を実感できるよう、実験・観察を多くし、実験・観察できないものは映像を活用する等の工夫をしている。	☆指導目標の明確化と学習の見通し ・課題に対する予想をする段階で、実験や観察をした結果まで、あらかじめ考えておく力を身につけさせたい。 ・課題を検証する実験観察方法を児童自ら考え、実践できる力を身につけさせたい。
体育	【課題】 ☆個人がより自主的に学習課題の解決に向けて取り組めるようにするために、児童同士の教え合いや認め合いの場面を多くしたい。 【工夫】 ☆教材の工夫 ・導入では頭と体のつながりを向上させるためにコーディネーション運動を取り入れながら、授業内容につながる導入を行っている。 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・児童が運動に取り組む際、運動のめあてをはっきりさせてから取り組めるよう学習カードを工夫している。	☆補助資料の活用 ・運動する際、個人が立てためあてを学級やグループの友達が分かるような掲示を行い、努力している様子が把握できるようにする。 ☆相互の学び合いと ・特に導入やまとめの段階で、児童同士の教え合いや認め合いの場面を多く設定し、教え合ったり認め合ったりする力をつけたい。
今年度の成果と課題 【成果】 【課題】		